

平成28年度

事業計画及び収支予算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画

I	基本方針	1
II	事業計画	
1	自主文化事業計画	2
	(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」	
	(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」	
	(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」	
	(4) 目標4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」	
	(5) 情報発信等	
2	第68回高知市文化祭事業計画	4
	(1) 活動支援事業	
	(2) 文化祭開幕行事	
	(3) 高知市展	
3	中央公民館事業計画	5
	(1) 生涯学習事業	
	(2) 第66回高知市夏季大学	
	(3) 貸館事業	
4	横山隆一記念まんが館事業計画	6
	(1) 企画展	
	(2) 第12回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」及び関連記念事業	
	(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル2016』	
	(4) まんが体験イベント	
	(5) 資料整理事業	
	(6) その他	
5	職員の資質向上	8

■収支予算書

●	収支予算書	9
	(1) 収支予算書	
	(2) 収支予算内訳表	
	(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
	(4) 資金収支予算書	

平成28年度事業計画

I 基本方針

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぼーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定めた。新指針では「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定め、高知市文化振興ビジョンとの整合を図りながら、市民文化の新たな創造を目指すこととし、平成28年度は次の基本方針によって各種事業の効果的な展開を図るものとする。

【平成28年度の基本方針】

1 自主文化事業

新事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、次の4つの目標に沿って事業を実施し、市民が誇りを持って日常的に芸術・文化の創造活動に向き合える土壌づくりに取り組む。

各種事業の実施に当たっては、「芸術文化を通じた地域づくり」も視野に入れるなど、高知市文化振興ビジョンとの整合を図ることとし、学校や地域などへのアウトリーチ活動やワークショップ(注)を充実させるとともに、事業団ならではのネットワークを活かして市民や学校教育との協働・連携を積極的に進める。

目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

(注) アウトリーチ活動：芸術・文化振興の分野では、公共文化施設等が行う地域への芸術家派遣サービスがあり、プロのアーティストを学校や福祉施設などに派遣し、ワークショップやミニコンサートなどを行っている。子どもたちを対象としたアウトリーチ活動は、将来の鑑賞者を育むことにもつながる。

ワークショップ：参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループ学習。

2 文化祭事業

各種文化団体や市民に作品発表や公演機会を提供して、市民による文化活動を支援するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を創造し、本市の文化の振興と向上を図る。

3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて、市民による自発的な地域の活性化に結び付く取り組みを進める。

4 まんが館事業

横山隆一の代表作である「フクちゃん」誕生80周年を記念して、特別周年記念展及びイベント等を実施し、横山隆一の顕彰と高知市のまんが文化振興を図るとともに、まんが文化に関わる人材の育成に取り組む。また、こうちまんがフェスティバルやまんが王国・土佐推進協議会と連携し、「まんが王国土佐」の確立・強化に取り組むとともに、他のまんが施設との連携を視野に入れてまんが文化の活性化を進める。

II 事業計画

1 自主文化事業計画

文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働のパートナーの活動を尊重しながらサポートし合い、「文化の協働」を推進するとともに、創造活動を通じた子ども達の社会参加を促す事業を実施する。

キッズフリーマーケット	28. 7. 3 (日)
売るのも買うのも子どもたちで行うフリーマーケット。開催に際しては高知銀行など、地域企業との連携を図る。	
とさつ子タウン	28. 8. 20(土)・21(日)
とさつ子タウン実行委員会との協働事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。	
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭	28. 9. 18 (日)
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会との協働事業として開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から参加予定の約120組が市内約10個所で演奏する。	
国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト	年間3回程度
市民団体「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」との協働事業として「ワールドミュージックナイト」など、多彩な音楽事業を年数回開催する。	
かるぽーと大階段コンサート	28年秋(予定)
かるぽーとの指定管理者・高知市文化プラザ共同企業体の事業への連携・協力。	

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

高知に紡がれてきた美術、映像、まんが、文芸作品などの有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、中央や世界で活躍するアーティストとともに作品を創り上げる事業等を実施する。

公共ホール演劇ネットワーク事業「演出家だらけの青木さん家の奥さん」	28. 10. 22・23 (土・日)
豊中市・北九州市芸術文化振興財団等の5文化施設連携事業。南河内万歳一座内藤裕敬による演劇で、多くの演劇人によって上演を重ねた名作。最低限の設定で繰り広げられる舞台に現代演劇界の第一線の演出家が集結する即興演劇。地域創造公共ホール演劇ネットワーク事業助成決定済。	
公共ホール現代ダンス活性化支援事業 大駱駝艦・田村一行舞踏公演	29. 2. 12 (日)
地域交流プログラム(アウトリーチ・公募ワークショップ)及び公演を実施する。アーティストの見た「高知」を作品に反映させるなど、地域交流プログラムを通して作品を作り上げていく。地域創造公共ホール現代ダンス活性化支援事業内定済、高知県文化財団助成申請中。	
高知の音楽活性化事業	29. 2. 23(木)～25(土)
平成21年度から継続的に取り組んでいる音楽活性化事業。市内の学校等で演奏者によるアウトリーチを行い、文化施設に足を運ぶ機会が少ない子どもたちに生の音楽を鑑賞する機会を提供する。最終日には大ホールでコンサートを開催。	
第33回写真コンテスト・高知を撮る	28. 12 募集開始
過去から現在に至るまでの高知県内の出来事や風景、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考える。	
第27回高知出版学術賞	28. 12. 10 募集開始
当該年における最もすぐれた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的とする。	

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施する。

Let's sing together うたごえ in 高知	28. 5. 7(土)
東京・新宿の「歌声喫茶ともしび」のメンバーが、観客とともに懐かしい曲を合唱します。たくさんの思い出とともに人生の歌を歌いかわし、ホールを歌声で一杯にする。	
ライブペインティング さとうたけし	28. 9. 17(土)～19(月)
ローラーアートという独自の技法で描く、さとうたけしのパフォーマンスと展示会を高知で初開催。そのスピード感とパワー溢れるタッチは人々に感動を与えている。	
若手陶芸作家合同作品展	29. 1. 14(土)～22(日)
高知県内で活躍中の40歳前後の若手陶芸家4～5人による合同作品展。日ごろは個々で作陶、展覧会出品、販売活動を行っている作家たちが、個性あふれる自身の作品を持ち寄り、展示・販売。出展者相互の啓発、切磋琢磨の場とする。	
アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報など広く発信する。	
美術アドバンスセミナー	未定
経験者のスキルアップを目的に、第一線で活躍する芸術家を講師として県内外から招き、絵画、彫刻、陶芸等の分野から1～2講座を開催する。	

(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を広げる事業を実施する。

オフロードウェイ・ミュージカル「Forever Plaid」	28. 5. 11 (水)
スチュワート・ロス脚本によるコメディミュージカル。1990年の初演以来アメリカ各地で上演され、2013年に日本初演。演出に板垣恭一を迎え、今回は初演と同じゴールデンメンバー(川平慈英、長野博、松岡充、鈴木壮麻)が再結集する。文化庁劇場音楽堂等間ネットワーク構築支援事業申請中。	
竜馬四重奏コンサート～土佐維新の遍～	28. 6. 25 (土)
邦楽打楽器のZ I N、篠笛の翠、津軽三味線の雅勝、そしてバイオリンの竜馬からなる新感覚ユニット竜馬四重奏のコンサートを行い、市民に良質な音楽鑑賞の機会を提供する。	
市川染五郎親子公演	28. 11. 30 (水)
歌舞伎界の大名跡、市川染五郎と長男松本金太郎さらに尾上菊之丞・尾上右近が来高。プログラムは連獅子の予定。尾上菊之丞の歌舞伎入門ワークショップも開催予定。自治総合センター助成申請中。	
ゲルハルト・オピッツ ピアノリサイタル	28. 12. 9 (金)
ドイツ・ピアノ界の巨匠 ゲルハルト・オピッツ氏を迎えてのピアノリサイタルを開催する。今回は、ベートーヴェンの「悲愴」「月光」「テンペスト」「熱情」の4大ピアノ・ソナタを一挙披露する。芸術文化振興基金助成申請中。	
卵をとるのはだあれ?	29. 1. 15 (日)
子どもたちから本物の舞台を見ることの大切さを伝えようと活動している劇団K I Oによる、日本一笑える児童演劇作品「卵をとるのはだあれ?」を上演する。	
劇団四季「こころの劇場」公演(市内小学生無料招待)	29. 2. 21(火)・22(水)
劇団四季、舞台芸術センターとの共同主催事業として行う市内の小学6年生を無料招待する公演。いじめや不登校、引きこもり、さまざまな不安にさらされている子どもたちに「命の尊さ」「信じあう喜び」「人を思いやる心」など、生きていく上で大切なことを舞台芸術を通して語りかける。学校教育課と協力して開催する。	

(5) 情報発信等

機関誌『文化高知』や「年間行事案内」の発行、高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、かるぽーとや事業団の情報を広く周知し、文化事業の周知に努める。また、ホームページだけでなくインターネットでのPRをさらに活用していくとともに、サポーターズクラブ「Cu1ちゃ

一ず」の会員増に努める。

2 第68回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の発展のために市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の3事業に取り組む。

(1) 活動支援事業

助成金による支援のほかに、新しい世代の文化団体の参加を促すことに努め、参加行事の質の向上を目指すとともに、将来的な文化祭の活性化に繋げていく。

(2) 文化祭開幕行事

高知市文化協会に委託し、4月10日（日）に舞台作品「土佐に生まれ、土佐が育んだ、文化の華」を上演する。宮尾登美子『一絃の琴』を題材に、土佐の一絃琴を後世へと繋げていった女性を、日本舞踊と朗読劇によって表現する。美穂川流陽和会、正曲一絃琴白鷺会を中心に複数の市民文化団体が出演して作品を作りあげる。

(3) 高知市展

5月28日（土）から6月12日（日）の会期でアンデパンダン（公募・無審査）方式により実施する。関連イベントとして、6月5日（日）に小中高生を対象とした体験イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」を開催する。

市展の会期前・会期中に各部門の講習会・研究会を行い、体験の機会や出品者の研鑽の場を提供する。姉妹都市提携30年を迎える北海道北見市との作品交流も引き続き実施する。

3 中央公民館事業計画（受託事業）

これまでの事業を継続しながら，市教育委員会と綿密に連携をとり，事業の円滑な推進や事業内容の質的向上に努める。

(1) 生涯学習事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応しつつ，社会教育，生涯学習に求められるものを把握し，各種講座では現代的課題に即したテーマを扱うことによって，多様な学習機会の提供に努める。

講 座 名
市民学校（春・秋・年末特別・作品展）
市民講座（初夏・秋冬）
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各3コース）
高知市民の大学（79期・80期，各2コース）
市民映画会（3回）
高知市民頭脳スポーツ大会（5競技）

(2) 第66回高知市夏季大学

7月25日（月）から8月5日（金）の土・日曜日を除く10日間，開講する。

政治・経済・世界情勢・スポーツ等の幅広い分野から，市民の関心や話題性が高く知名度のある講師を招き，入場者数の増加を図る。

また，東日本大震災5年・南海地震70年や，若者の政治参加，地方創生などをテーマに据え，現代社会のさまざまな課題について市民に学び考える機会を提供する。

(3) 貸館事業

中央公民館の運営についての見直しを進めることによって，多様化するニーズに対応できる社会教育の環境づくりを図る。

また，生涯学習サークルなどの利用者にとって利便性が向上したことの周知に努め，利用率の増加のみならず生涯学習の中核拠点としての利活用の促進を目指す。

複合施設としての特徴を活かした大小ホール・ギャラリー等との併用においては，指定管理者と連携し，柔軟な対応をすることにより利用率の増加に努める。

4 横山隆一記念まんが館事業計画(受託事業)

まんが館は、横山隆一の業績を広く顕彰するとともに、郷土の誇るまんが文化を継承することによって市民文化の振興に寄与することを目的としている。この目的を実現するため、隆一作品の展示、整理を行うとともに、様々なプログラムにより、市民がまんが文化に親しみ、ユーモア精神に触れ、ゆとりと交流を楽しみながら、知的・創造的な刺激を受ける場を提供するため、常設展示をはじめ、以下の事業を行う。

(1) 企画展ほか

横山隆一記念まんが館の収蔵品や研究成果を発表するとともに、国内外のまんが文化を広く紹介する。特に今年度は横山隆一のフクちゃんが誕生して80年の節目の年であり、春と夏に記念の展示を行い、フクちゃん・横山隆一の周知に努める。また、県内における様々なまんが文化活動を紹介する。

フクちゃん誕生80年記念 みんなの友だち・フクちゃん展	28. 4. 29 (金・祝) ~ 6. 26 (日)
高知市名誉市民第1号でもある横山隆一のフクちゃんが登場してから、80年が経過した。国民の人気キャラクターとして愛されたフクちゃんのあゆみを振り返るとともに、新たに現代の作家が表現したフクちゃんを展示し、改めてその魅力に迫る。	
フクちゃん誕生80年記念 フクちゃんと昭和～いっしょに遊ぼう!～(仮)	28. 7. 16 (土) ~ 9. 25 (日)
隆一のおもちゃコレクション、その他昭和の玩具コレクション等を併せた展示や、ペーパークラフト作家・大田隆司による昭和の町並みや電車のある風景作品と、「フクちゃん」の原画作品のコラボ展示を行う。また関連イベントとして会期中に、かるぼーと北広場から三階ギャラリーにかけて、酒井敦美の野外幻燈で子どもたちが遊ぶ風景をモチーフとして描くイベントを行う。イベント当日はまんが館の夜間開館も行う予定。	
4コマまんが大賞&あれこれ2016展(仮)	28. 10. 22 (土) ~ 29. 1. 15 (日)
「まんが甲子園」や「黒潮マンガ大賞」など、高知のまんがコンテストの入賞作品の紹介や、まんがを用いた県内の活動等を紹介展示。高知に根付く、まんが文化の「今」を幅広く紹介する。併せて今年度の「4コマまんが大賞」入賞作品も同時展示する。	
まんが・漫画・マンガ展! 2017	29. 3月 ~ 4月 (予定)
地元のまんが活動を支援することを目的に、高知で活躍するまんがグループ「高知漫画集団」と「高知漫画グループくじらの会」に新作発表の場を提供。描き下ろし競作の合同テーマや一般参加コーナーも設定。	

(2) 第12回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、全国でも珍しい4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設。本年度で12回目の開催。学校等への周知も含め、まんがの原点である4コマまんがの普及に努める。

作品募集	募集期間: 28. 4. 15 (金) ~ 9. 6 (火)
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	28. 10. 29 (土)
「まんさいーこうちまんがフェスティバル2016」で行う予定	
4コマまんが大賞作品の展示	28. 10. 22(土)~29. 1. 15 (日)
入賞作品を「4コマまんが大賞&あれこれ2016展」の中で展示。	

(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル2016』

まんさいーこうちまんがフェスティバル2016	28. 10. 29 (土)・30 (日)
市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行う、「まんさいーこうちまんがフェスティバル2016」。11月3日の「まんがの日」にちなみ、子どもから大人まで、「みる、かく、あそぶ」をテーマとした中四国最大級のまんが・アニメの祭典で、今年で14回目となる。まんがグッズづくりや声優トークショーなど、さまざまなコーナーを展開。	

また中心商店街の活性化に寄与するため、商店街全体をエリアとして、まんが・アニメを切り口としたイベントを実施し、「まんが王国・土佐」の受け皿作りの一翼も担っていく予定。	
こまんさい（関連事業）	29. 3月上旬開催予定
春先恒例の観光イベント「土佐のおきやく」において「こまんさい」と題して、実行委員会を中心となり、まんさいの関連イベントを実施する。	

(4) まんが体験イベント

子どもたちにまんがに親しんでもらうため、まんがを用いて工作する機会を提供する体験イベントを夏休みや冬休みに行い、まんが文化の担い手を育てる。講師は地元まんが家などに依頼する。

(5) 資料整理事業

横山家から寄贈された約40,000点の資料の整理・保存を行うほか、新聞の切り抜き・チラシ・パンフ等まんが関連資料の整理・保存及びデータのシステム入力と新規収蔵品の整理を行う。また、収蔵品管理システムの入れ替えについて検討していく。

(6) その他

- ① 館報『FUKU-FUKU』と年報の発行。
- ② ホームページ，高知市や事業団広報枠の活用及び各情報誌等での広報活動の他，まんが館事業の情報発信を図るため文化・観光施設等とも連携を図る。
- ③ ライブラリーの特設コーナーを時々の話題に応じて企画・展開する。
- ④ 来館者増につながる観光イベントへの積極的な参加。
- ⑤ 新聞学芸欄等へのまんが文化に関する文章の掲載や，講演・講座の実施。
- ⑥ 全国のまんが及び博物館関係の研修会や連絡会への参加。
- ⑦ 外国人観光客への対応として多言語化システムの導入について検討する。
- ⑧ 学芸員実習生等の受け入れ。

5 職員の資質向上

事業の改善を図るためには、管理・監督職員のリーダーシップのもとに、しっかりと*PDCAサイクルを循環させることが不可欠となる。実施後に事業の的確な検証を行い、検証結果を反映させた事業の次期実施計画の策定することなどを反復し、事業の継続的な質的向上を目指した取組が必要である。

そのためには職員の一層の質的向上が求められ、昨年度から取り組んでいる管理・監督職員を対象としたマネジメント研修やその他の職員を対象とした文化事業の企画・立案能力研修等の一層の充実を図る。

また、まんが館については県内外の文化施設との情報交換や交流、各種の研修への参加による人材育成を行う。日本マンガ学会、日本漫画家協会、日本博物館協会等、所属する団体での活動を通じて、まんがに関する研究を深め、関連団体等との連携を図り、まんが館事業のさらなる充実を図っていく。

* PDCAサイクル

「Plan」「Do」「Check」「Action」の略。

仕事を進める際、まず計画し、実行し、その評価を行い、更に改善していくサイクルのことをいい、PDCAを継続的に行って仕事の内容を改善しながら次のステージへと進めていくことを指す。

収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
基本財産運用利息	2,000	2,000	0
事業収益	155,688,000	143,946,000	11,742,000
文化事業収益	17,580,000	8,017,000	9,563,000
文化事業収益	15,970,000	6,399,000	9,571,000
まんが館事業収益	1,256,000	1,420,000	-164,000
会費収益	240,000	184,000	56,000
出版物売払収益	114,000	14,000	100,000
文化事業受託収益	138,108,000	135,929,000	2,179,000
高知市文化祭事業受託収益	6,953,000	6,841,000	112,000
中央公民館事業受託収益	50,407,000	50,175,000	232,000
まんが館事業受託収益	52,706,000	49,996,000	2,710,000
運営管理受託収益	28,042,000	28,917,000	-875,000
受取補助金等	64,663,000	63,103,000	1,560,000
受取地方公共団体補助金	62,463,000	57,851,000	4,612,000
財団管理運営補助金	4,962,000	4,730,000	232,000
文化事業補助金	47,948,000	43,607,000	4,341,000
文化活動等助成事業補助金	9,553,000	9,514,000	39,000
受取民間助成金	2,200,000	5,252,000	-3,052,000
事業助成金	2,200,000	5,252,000	-3,052,000
受取寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	1,724,000	1,907,000	-183,000
雑収益	1,724,000	1,907,000	-183,000
運営管理事業雑収益	105,000	105,000	0
中央公民館実習材料販売等雑収益	1,519,000	1,654,000	-135,000
まんが館事業雑収益	100,000	148,000	-48,000
経常収益計	222,087,000	208,968,000	13,119,000

収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	218,104,000	204,980,000	13,124,000
役員報酬	1,862,000	1,732,000	130,000
給料	46,459,000	45,653,000	806,000
手当	29,081,000	30,172,000	-1,091,000
賃金	15,392,000	15,202,000	190,000
福利厚生費	19,980,000	19,614,000	366,000
食糧費	473,000	744,000	-271,000
旅費交通費	5,788,000	6,105,000	-317,000
通信運搬費	2,173,000	2,651,000	-478,000
減価償却費	2,398,000	2,105,000	293,000
消耗品費	2,946,000	3,011,000	-65,000
修繕費	494,000	499,000	-5,000
印刷製本費	4,643,000	5,266,000	-623,000
燃料費	118,000	137,000	-19,000
賃借料	10,064,000	7,902,000	2,162,000
広告宣伝費	570,000	394,000	176,000
保険料	492,000	541,000	-49,000
委託費	44,293,000	33,581,000	10,712,000
諸謝金	17,646,000	18,203,000	-557,000
租税公課	5,767,000	3,842,000	1,925,000
負担金	6,486,000	6,516,000	-30,000
雑費	979,000	1,110,000	-131,000
管理費	6,196,000	5,942,000	254,000
役員報酬	3,224,000	3,027,000	197,000
給料	470,000	462,000	8,000
手当	800,000	797,000	3,000
賃金	97,000	96,000	1,000
福利厚生費	1,035,000	984,000	51,000
通信運搬費	65,000	69,000	-4,000
減価償却費	100,000	87,000	13,000
消耗品費	17,000	17,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	69,000	69,000	0
燃料費	5,000	6,000	-1,000
賃借料	111,000	110,000	1,000
保険料	8,000	11,000	-3,000
委託費	80,000	85,000	-5,000
諸謝金	25,000	32,000	-7,000
租税公課	3,000	3,000	0
負担金	69,000	69,000	0
雑費	8,000	8,000	0
経常費用計	224,300,000	210,922,000	13,378,000
当期経常増減額	-2,213,000	-1,954,000	-259,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,213,000	-1,954,000	-259,000
一般正味財産期首残高	47,818,291	43,349,875	4,468,416
一般正味財産期末残高	45,605,291	41,395,875	4,209,416
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	55,605,291	51,395,875	4,209,416

収支予算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	2,000	2,000
基本財産受取利息	0	2,000	2,000
基本財産受取利息	0	2,000	2,000
事業収益	154,554,000	1,134,000	155,688,000
文化事業収益	16,700,000	880,000	17,580,000
文化事業収益	15,090,000	880,000	15,970,000
まんが館事業収益	1,256,000	0	1,256,000
会費収益	240,000	0	240,000
出版物売払収益	114,000	0	114,000
文化事業受託収益	137,854,000	254,000	138,108,000
高知市文化祭事業受託収益	6,953,000	0	6,953,000
中央公民館事業受託収益	50,407,000	0	50,407,000
まんが館事業受託収益	52,706,000	0	52,706,000
運営受託収益	27,788,000	254,000	28,042,000
受取補助金等	59,701,000	4,962,000	64,663,000
受取地方公共団体補助金	57,501,000	4,962,000	62,463,000
財団管理運営補助金	0	4,962,000	4,962,000
文化事業補助金	47,948,000	0	47,948,000
文化活動等助成事業補助金	9,553,000	0	9,553,000
受取民間助成金	2,200,000	0	2,200,000
事業助成金	2,200,000	0	2,200,000
受取寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
雑収益	1,719,000	5,000	1,724,000
雑収益	1,719,000	5,000	1,724,000
運営事業雑収益	100,000	5,000	105,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	1,519,000	0	1,519,000
まんが館事業雑収益	100,000	0	100,000
経常収益計	215,974,000	6,113,000	222,087,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	218,104,000	0	218,104,000
役員報酬	1,862,000	0	1,862,000
給料	46,459,000	0	46,459,000
手当	29,081,000	0	29,081,000
貸金	15,392,000	0	15,392,000
福利厚生費	19,980,000	0	19,980,000
食糧費	473,000	0	473,000
旅費交通費	5,788,000	0	5,788,000
通信運搬費	2,173,000	0	2,173,000
減価償却費	2,398,000	0	2,398,000
消耗品費	2,946,000	0	2,946,000
修繕費	494,000	0	494,000
印刷製本費	4,643,000	0	4,643,000
燃料費	118,000	0	118,000
賃借料	10,064,000	0	10,064,000
広告宣伝費	570,000	0	570,000
保険料	492,000	0	492,000
委託費	44,293,000	0	44,293,000
諸謝金	17,646,000	0	17,646,000
租税公課	5,767,000	0	5,767,000
負担金	6,486,000	0	6,486,000
雑費	979,000	0	979,000
管理費	0	6,196,000	6,196,000
役員報酬	0	3,224,000	3,224,000
給料	0	470,000	470,000
手当	0	800,000	800,000
貸金	0	97,000	97,000
福利厚生費	0	1,035,000	1,035,000
通信運搬費	0	65,000	65,000
減価償却費	0	100,000	100,000
消耗品費	0	17,000	17,000
修繕費	0	10,000	10,000
印刷製本費	0	69,000	69,000
燃料費	0	5,000	5,000
賃借料	0	111,000	111,000
保険料	0	8,000	8,000
委託費	0	80,000	80,000
諸謝金	0	25,000	25,000
租税公課	0	3,000	3,000
負担金	0	69,000	69,000
雑費	0	8,000	8,000
経常費用計	218,104,000	6,196,000	224,300,000
当期経常増減額	-2,130,000	-83,000	-2,213,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			-2,213,000
一般正味財産期首残高			47,818,291
一般正味財産期末残高			45,605,291
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高			55,605,291

資金調達及び設備投資の見込みについて
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

期中に借り入れの予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以 上

資金収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
1 基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
1 基本財産利息	2,000	2,000	0	
2 事業収入	155,788,000	144,046,000	11,742,000	
1 文化事業収入	17,580,000	8,017,000	9,563,000	
1 文化事業収入	15,970,000	6,399,000	9,571,000	
2 まんが館事業収入	1,256,000	1,420,000	-164,000	
3 賛助会費収入	240,000	184,000	56,000	
4 出版物売払収入	114,000	14,000	100,000	
2 文化事業受託収入	138,208,000	136,029,000	2,179,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	6,953,000	6,841,000	112,000	
2 中央公民館事業受託収入	50,407,000	50,175,000	232,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	52,706,000	49,996,000	2,710,000	〃
4 運営受託収入	28,142,000	29,017,000	-875,000	〃
3 補助金収入	64,663,000	63,103,000	1,560,000	
1 地方公共団体補助金収入	62,463,000	57,851,000	4,612,000	
1 財団管理運営補助金収入	4,962,000	4,730,000	232,000	〃
2 文化事業補助金収入	47,948,000	43,607,000	4,341,000	〃
3 文化活動等助成事業補助金収入	9,553,000	9,514,000	39,000	〃
2 民間助成金収入	2,200,000	5,252,000	-3,052,000	
1 事業助成金	2,200,000	5,252,000	-3,052,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
5 雑収入	1,724,000	1,907,000	-183,000	
1 雑収入	1,724,000	1,907,000	-183,000	
1 運営管理事業雑収入	105,000	105,000	0	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	1,519,000	1,654,000	-135,000	
3 まんが館事業雑収入	100,000	148,000	-48,000	
当期収入合計 (A)	222,187,000	209,068,000	13,119,000	
前期繰越収支差額	18,736,175	17,561,556	1,174,619	
合 計 (B)	240,923,175	226,629,556	14,293,619	

資金収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1 事業費支出	215,619,000	202,770,000	12,849,000	
役員報酬支出	1,862,000	1,732,000	130,000	
給料支出	46,459,000	45,653,000	806,000	
手当支出	29,081,000	30,172,000	-1,091,000	
貸金支出	15,392,000	15,202,000	190,000	
福利厚生費支出	19,980,000	19,614,000	366,000	
食糧費支出	473,000	744,000	-271,000	
旅費交通費支出	5,788,000	6,105,000	-317,000	
通信運搬費支出	2,173,000	2,651,000	-478,000	
消耗品費支出	2,946,000	3,011,000	-65,000	
修繕費支出	494,000	499,000	-5,000	
印刷製本費支出	4,556,000	5,161,000	-605,000	
燃料費支出	118,000	137,000	-19,000	
賃借料支出	10,064,000	7,902,000	2,162,000	
広告宣伝費支出	570,000	394,000	176,000	
保険料支出	492,000	541,000	-49,000	
委託費支出	44,293,000	33,581,000	10,712,000	
諸謝金支出	17,646,000	18,203,000	-557,000	
租税公課支出	5,767,000	3,842,000	1,925,000	
負担金支出	6,486,000	6,516,000	-30,000	
雑費支出	979,000	1,110,000	-131,000	
2 管理費支出	6,096,000	5,855,000	241,000	
役員報酬支出	3,224,000	3,027,000	197,000	
給料支出	470,000	462,000	8,000	
手当支出	800,000	797,000	3,000	
貸金支出	97,000	96,000	1,000	
福利厚生費支出	1,035,000	984,000	51,000	
通信運搬費支出	65,000	69,000	-4,000	
消耗品費支出	17,000	17,000	0	
修繕費支出	10,000	10,000	0	
印刷製本費支出	69,000	69,000	0	
燃料費支出	5,000	6,000	-1,000	
賃借料支出	111,000	110,000	1,000	
保険料支出	8,000	11,000	-3,000	
委託費支出	80,000	85,000	-5,000	
諸謝金支出	25,000	32,000	-7,000	
租税公課支出	3,000	3,000	0	
負担金支出	69,000	69,000	0	
雑費支出	8,000	8,000	0	
3 予備費支出	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	221,815,000	208,725,000	13,090,000	
当期収支差額 (A)-(C)	372,000	343,000	29,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	19,108,175	17,904,556	1,203,619	